

御手洗いいところ新聞

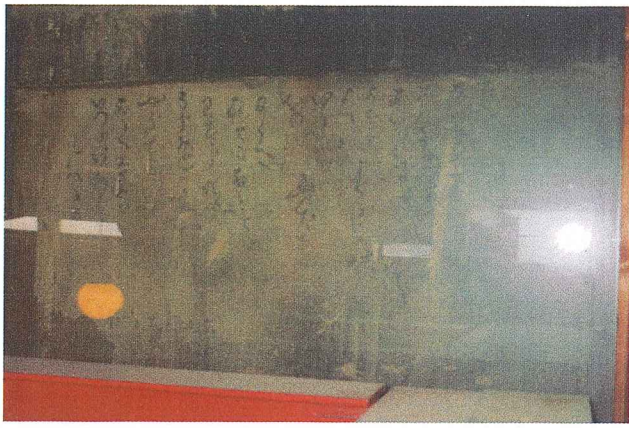


お歯黒伝説

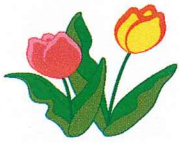


御手洗には、怖い伝説があります。
その怖い話の一つを紹介します。

江戸時代、若胡子屋での話です。幼いかむろ(遊女の付け人の少女)が、花魁(遊女)にお歯黒を付けるようにすすめましました。しかし、お歯黒の付けが悪く、怒った花魁は、にえぎった



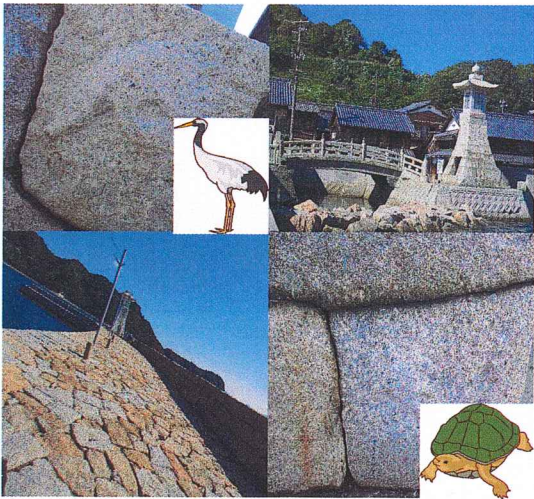
お歯黒をかむろの口に注ぎ、かむろは黒い血を吐きながら壁に手をつけて死にました。その手形は、何度壁を塗り替えようとにじみ出てくるという伝説が、残されています。
若胡子屋に行くと、その手形を見ることが出来ます。
みなさん、ぜひ行って見て下さい。



令和三年
発行者
藤田 岡本
山本 上神

千砂子波止と高灯籠

この防波堤は、江戸時代後期、港を拡げて商船を増やし御手洗の繁栄を取り戻すために広島藩が築いたものです。全長約120メートル、沖出し部分、約90メートルで、当時中国無双と、称されました。千砂子砂入り口付近に波止を築いた石工職人が、御手洗の永遠の繁栄を願って彫った見事な鶴と亀の彫刻があります。
その鶴と亀の彫刻をさするとどんな願いが叶うと言われているでしょう。



- ① お金もち
 - ② 不老長寿
 - ③ 願い事
- 正解は、、、
②の不老長寿が叶うといわれています。
ぜひ行って探して下さい。



中村春吉

豊町御手洗で生まれた中村春吉は12歳で朝鮮半島への無銭旅行を行いました。その後、アメリカ製の自転車を買ひ、明治35年から1年3カ月かけて、日本人で初めて自転車を使った無銭世界一周旅行をし、広く世間に知れ渡りました。中村春吉の自転車は、御手洗の若胡子屋にあります。
ぜひ、行って見て下さい。

